

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 21.7.1 第 171 回国会第 21 号

7 月 1 日（水）第 21 回の委員会が開かれました。

- 1 外国為替及び外国貿易法第十条第二項の規定に基づき、北朝鮮からの貨物につき輸入承認義務を課する等の措置を講じたことについて承認を求めるの件（内閣提出、承認第 3 号）
- 外国為替及び外国貿易法第十条第二項の規定に基づき、北朝鮮を仕向地とする貨物につき輸出承認義務を課する等の措置を講じたことについて承認を求めるの件（内閣提出、承認第 4 号）
- ・二階経済産業大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・両件について採決を行った結果、全会一致をもって承認すべきものと決しました。
- （賛成 自民、民主、公明、共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

古川元久君（民主）

- ・近年の北朝鮮の国別対外貿易総額をみると、中国と韓国との伸びが著しい。制裁措置を実効性あるものにするため、中国、韓国による北朝鮮輸出の内容について精査するべきではないか。
- ・第三国を経由して北朝鮮に輸出される貨物に対する取締りをどのように行うつもりなのか。

大島敦君（民主）

- ・平成 14 年 9 月 17 日の「日朝平壤宣言」では、国際法を遵守し、互いの安全を脅かす行動をとらないことを確認した。この宣言は現在においても、維持されるべきだと

思うか。

- ・今後、北朝鮮が再びミサイル発射実験や核実験を行った場合に我が国はどのような対応措置をとるのか。

吉井英勝君（共産）

- ・北朝鮮に対し、対話の重要性を説明し、強硬姿勢をとらないことが、北朝鮮の安全保障の観点からも有効であることを理解させていくことが大事ではないか。